

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館 学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

研究会の構成員

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-03-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00008656

研究会の構成員（あいうえお順）

氏名（ふりがな）、2009年3月現在の所属、職名、生年及び出生地、最終学歴、学位名、専門領域、業績3点

小田 博志（おだひろし）、北海道大学大学院文学研究科、准教授、1966年香川県生まれ、ハイデルベルク大学、Dr.sc.hum.（人間科学博士）、文化人類学、平和研究、「難民——現代ドイツの教会アジール」春日直樹編『人類学で世界をみる』149-168、ミネルヴァ書房、2008年、「ナラティブと現場性」『日本保健医療行動科学会年報』22: 27-37、2007年、Peacebuilding from Below: Theoretical and Methodological Considerations toward an Anthropological Study on Peace. *Journal of the Graduate School of Letters, Hokkaido University* 2: 1-16, 2007.

加賀谷 真梨（かがやまり）、法政大学教養学部、非常勤講師、1977年神奈川県生まれ、お茶の水女子大学人間文化研究科博士後期課程修了、博士（社会科学）、文化人類学・ジェンダー研究・南西諸島研究、「沖縄研究にみられる「女性の霊的優位」言説からジェンダー研究へ」田里修・若尾典子・三成美保編『比較家族史学会監修 シリーズ比較家族 沖縄とジェンダー』、早稲田大学出版部、2009年刊行予定、「沖縄県・小浜島における生涯教育システムとしての年中行事」『日本民俗学』242: 35-63、2005年、「地域共同体の維持存続をめぐる女性の多様な実践——沖縄県・小浜島を事例に」『くにたち人類学研究』2: 69-90、2007年。

新福 尚隆（しんふくなおたか）、西南学院大学人間科学部、教授、神戸大学医学部名誉教授、1942年台湾高雄市生まれ、九州大学医学部卒業（1967）、医学博士、精神医学・社会精神医学、「世界の精神保健医療——現状理解と今後の展望」ヘルス出版、『国際共生と健康』放送大学ラヂオ講座テキスト、放送大学教育振興会、「国際保健医療学」日本国際保健医療学会、杏林書店。

田村 克己（たむらかつみ）、国立民族学博物館、教授、1949年兵庫県生まれ、東京大学大学院社会学研究科文化人類学専攻修士課程修了（1975）、社会学修士（東京大学 1975）、東南アジア文化人類学、田村克己編『文化の生産』ドメス出版、1999年、田村克己・根本敬編『暮らしがわかるアジア読本 ビルマ』河出書房新社、1997年、「ビルマの建国神話について」『国立民族学博物館研究報告』20(4): 607-645、1995年。

仲川 裕里（なかがわゆり）、専修大学経済学部、准教授、1965年東京都生まれ、オックスフォード大学博士課程、D.Phil.、韓国の親族と社会、「韓国の出生動向——少子化と出生性比不均衡について」『専修経済学論集』39(2)、2005年、「Moving beyond the Dichotomy of “We” and “They”: Retrospect and Prospect in “Home Anthropology”」『専修大学人文科学研究月報』228、2007年、「両班化の諸相と儒教——イデオロギーの社会的上昇機能と限界」『東アジア社会における儒教の変容』専修大学出版局、2007年。

波平 恵美子 (なみひらえみこ), お茶の水女子大学名誉教授, 1942年福岡県生まれ, 九州大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学 (1973) / 米国テキサス大学 (The University of Texas) 大学院人類学研究科博士課程修了 (1977), Ph.D., 『医療人類学入門』朝日新聞社, 『からだの文化人類学』大修館書店, 『脳死・臓器移植・がん告知』ベネッセ・コーポレーション。

星野 晋 (ほしのしん), 山口大学大学院医学系研究科, 講師, 1960年東京都生まれ, 立教大学大学院文学研究科博士後期課程退学 (1990), 文学修士, 文化人類学・医療人類学, 『『病気』というカテゴリーをめぐって—suffering 論序説』波平恵美子編『病むことの文化—医療人類学のフロンティア』67-91, 海鳴社, 1990年, 「文化摩擦としての輸血拒否—日本におけるエホバの証人の輸血拒否をめぐる医療環境の変化について」『民族学研究』66 (4): 460-481, 2002年, 「医療者と生活者の物語が会うところ」江口重幸・斎藤清二・野村直樹編『ナラティブと医療』70-81, 金剛出版, 2006年。

松岡 悦子 (まつおかえつこ), 奈良女子大学生生活環境学部, 教授, 1954年大阪府生まれ, 大阪大学大学院人間科学研究科博士課程単位取得退学, 博士 (文学), 医療人類学, 『出産の文化人類学』海鳴社, 1991年, 坂井昭宏・松岡悦子編『バイオエシックスの展望』東信堂, 2004年, 松岡悦子編『産む産まない産めない—女性のからだと生き方読本』講談社現代新書, 2007年。

道信 良子 (みちのぶりょうこ), 札幌医科大学医療人育成センター教養教育研究部門, 准教授, 1964年広島県生まれ, お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程単位取得満期退学, 博士 (社会科学)・MPH (グローバル・ヘルス), 医療人類学, グローバル・ヘルス, “HIV is irrelevant to our company”: Everyday Practices and the Logic of Relationships in HIV/AIDS Management by Japanese Multinational Corporations in Northern Thailand. *Social Science & Medicine* 68: 941-948, 2009/ Reproductive Health Management in Japanese Multinational Companies in Northern Thailand. *The Japanese Journal of Health Behavioral Science* 23: 41-58, 2008/ *Lives in Transition: The Influence of Thailand's Economic and Cultural Transition on Young Factory Women's Sexual Behavior and HIV Risk*. Center for Health Policy Studies, Mahidol University, Bangkok, 2005.

宮下 克也 (みやしたかつや), 北里大学一般教育部, 非常勤講師, 1968年北海道生まれ, 慶応義塾大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程修了, 博士 (社会学), 文化人類学・法人類学・民俗学, 「記憶の刻印・喚起と自己確認—現代沖縄社会の金武御殿巡拝」『日本民俗学』206, 「近代法の実践—民俗慣行の近代法の読み替え」『生活学論叢』4, 「法人化する門中—ポストモダン社会における親族組織の戦略」『アジア遊学』53, 勉誠社。